

### 災害時にどうしたらいいの？

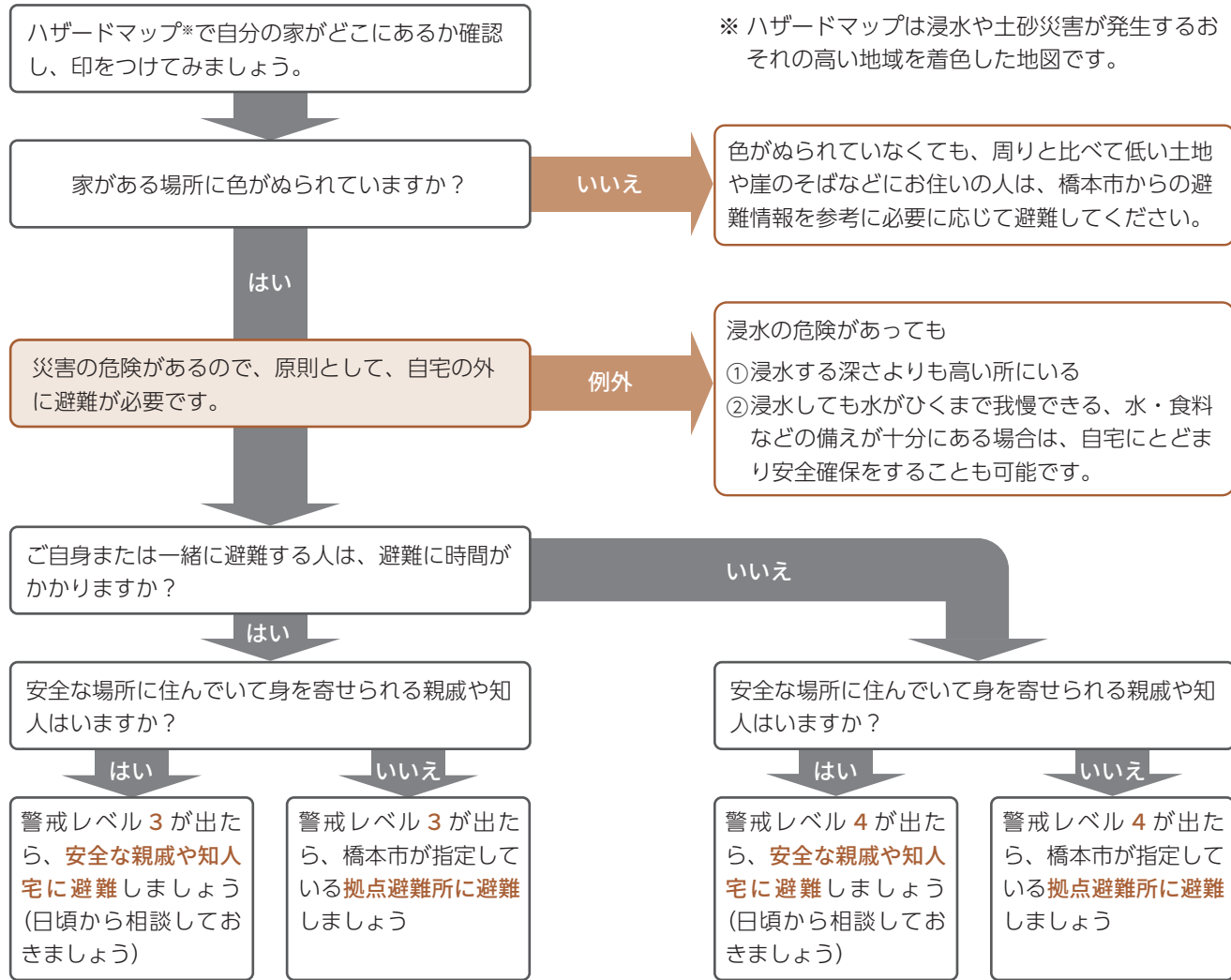
下の避難行動判定フローを参考にして、普段からあなたがとるべき避難行動を確認しておきましょう。

ハザードマップについては、令和3年5月に全戸配布しています。また、市ホームページ（右の二次元コード）からも確認できます。



### 避難行動判定フロー

#### あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取り組みましょう！



あなたの避難が命を救います「決めた！早めに避難する！」

土砂災害など災害発生時には、いち早く安全な場所へ避難することがなによりも大切です。避難に要する時間は「ご家庭」ごとに異なります。小さな子どもや高齢者がいる家庭では、「急ぐこと」が難しいので避難そのものに時間がかかります。「まだ大丈夫。」ではなく、十分な余裕を持って行動しましょう。

「周りの人が避難したから」ではなく、まずあなたから、避難をはじめてください。大事な家族の命を守るために、愛する人たちを悲しませないために、最も重要なことは、タイミングを逃すことなく決断し、安全に避難することです。「危ないから避難しよう！」この一言が大切な命を救います。

問い合わせ 危機管理室 333-6105



令和5年6月豪雨の橋本市の被害（ため池の堤体の崩落の様子）

## わがまち防災 あなたの避難が命を救う

災害時、避難した人のほとんどが「周りの人が避難したから」を理由に避難を決めています。だからこそ、あなたから避難をはじめてください。そして、避難する際には、地域で声を掛けあつて「早めに避難」ができるよう、日ごろから周囲の人と関わりを持ち、助け合える関係性を築きましょう。

【危機管理室】

### 「避難」って何をすればいいの？

避難とは、難を避けること全体を指しており、市が指定している拠点避難所への移動だけが避難というわけではありません。住んでいる地域やそのときの状況、人によって方法はさまざまです。「自分の命は自分で守る」意識を一人ひとりが持ち、普段からどう行動するか決めておくことが大切です。

#### 避難先① 在宅避難

災害時において、自宅に浸水や土砂災害などの危険性がない場合に、そのまま自宅で避難する方法です。在宅避難の場合、生活必需品の備蓄が必要不可欠になるため、日ごろからご家庭で何が必要なのか考えてみましょう。

#### 避難先② 親戚や知人宅などへ避難

安全な地域にお住まいの親戚や知人宅に避難することも一つの選択肢です。普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

#### 避難先③ 市指定の拠点避難所（市内43カ所）

近くの拠点避難所がどこか、普段から確認しておきましょう。

### いつ逃げたらいいの？

市が発令する「避難情報」を聞いた時が「逃げ時」です。テレビやラジオ、インターネットなどの気象情報も参考にしてください。

| 警戒レベル                | 避難情報                        | 避難行動など                               |
|----------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 災害発生<br>警戒レベル5       | 緊急安全確保<br>市が発令              | 命を守るために最善の行動を！                       |
| 危険<br>警戒レベル4<br>全員避難 | 避難指示<br>市が発令                | 直ちに避難！<br>速やかに避難先に避難する               |
| 警戒<br>警戒レベル3<br>避難   | 高齢者等避難<br>市が発令              | 避難に時間がかかる人と支援者は避難する                  |
| 注意<br>警戒レベル2         | 洪水注意報<br>大雨注意報 など<br>気象庁が発令 | 避難準備開始<br>情報収集を開始避難に備えて、自らの避難行動を確認する |
| 留意<br>警戒レベル1         | 早期注意情報<br>気象庁が発令            |                                      |